



懇親会模様と吹奏楽部のアトラクション

やよい

発行責任者
都立向丘高校同窓会
会長 小川 力 洋
編集 広報委員会
事務局
東京都文京区向丘1-11-18
向丘高校内
TEL 3811-2022
FAX 3812-4055

生きた会報！

生かせ人生！



会長

小川 力 洋

輝かしい新春を迎えられ、お慶び申し上げます。

近時、内外情勢は激動の変化があり誠に不安定です。国外ではロシア総選挙・ウルグアイラウンド交渉打結。国内ではこの関連の米輸入で向う七年間の段階的間税化の問題、政治改革だの、補正予算計上へと構造不況の脱出を試みてはいるものの、一般社会は全くの沈滞ムード、混迷せる時勢です。一日も早く光明の当る日々が興せる様、願ってやまないものです。さて、その中で、我が同窓会は一步一步ではあるが、着実に前進を行っております。

① まず、四月二十九日の総会で、役員改選を提案し、承認を得ました（最終役員表をご覧ください）

「原 隆男先生叙勲」

本校第八代校長の原 隆男先生が、平成五年の秋の叙勲で、めでたく勲四等瑞宝章を受章されました。心からお祝い申し上げます。

先生は、英語科の教員として、スタート。第二次世界大戦の時局緊迫に伴い昭和十六年秋教育召集に応じて事務につく。終戦時、ハ

更に、幹事を推薦・選出し幹事会を二回開き、より多くの方々のご意見を取り入れていこうとするものです。本来ならばこの幹事は各卒業年度から代表者（二―三名）が選出され、本部事務局へ登録を頂き組織される形が好ましいのです。同期会等開催された折には是非ご決定を頂き、ご報告又はお申し出をお願い致します。

② 母校に関心があがり、折があったら立ち寄って様子を知りたいと常々考えておられる方に、として開かれているのがホームカミングです。お気軽に出向いて下さることを望んでおります。

③ 前記総会・学校訪問にも参加できない方々へ唯一の連絡お便りとして、この会報を広報委員の方々が、ご投稿の依頼から、編集会議・校正会等を数度に恒って根気良く頑張つて下さいます。この会報をお読み頂き君も貴女も感銘なり、強い想い出等がある筈です。「仲間のひろば」にご投稿下さい。会員・関係各位の明日へ向って一段の飛翔をお祈り申し上げます。

ルビン地区勤務。十一年の永きにわたるシベリヤ抑留後、復興期のわが国の学校教育に寄与され、英語教育並びに英語科教授法に顕著な功績を残されました。

本校には、昭和五十年四月から三年間、校長として、勤務されました。この他、数々のご功績に対して、今回叙勲の栄誉に浴されました。（池永武昭記）

「同窓会に思いを」



校長

池永 武昭

サムエル・ウルマンの詩の一節「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う」と記してあります。名言であると感じています。一方、青春のまつただ中の三年間を向丘高校で過ごしたことも事実です。歳をとるごとに母校に対する懐かしさ、思いは募るものです。(新会員は無理?)

小生も大学時代の同期会四百名の事務局も担当していますが、年一回の総会(全国持ち回り)と二回の会報発行で手一杯ですが、何と云っても、連絡したあと、原稿や近況等の手紙を頂いた時の喜び、嬉しさは他のものに比較できません。役員冥利に尽きます。向丘高校同窓会(やよい会)は会員一万四千余名を誇る大世帯です。小川会長をはじめ役員の方々は、同窓会のために一生懸命頑張ってくれています。仕事や学業、子育て等、色々な個人的な事情はあると思いますが、クラス会の役員になっている方を中心に、同期会に発展させそれが総会に繋がることになれば、総会参加者も増える筈です。誰かが猫の首に鈴をつけるのを待つのではなく、役員の立場に立って、物事を考え、判断し、行動してもらいたいものです。

向丘高の近況報告



教頭

篠田 信雄

十一月二十四日(水)晴天のもと、多摩湖畔で恒例のクロスカントリーが実施された。男子8.4km、女子6.8kmである。校長は女子の部、教頭は男子の部に参加し、共に完走した。都立校多しと云えども、校長、教頭共に、このような行事で走るのは向丘だけと自負している。

二年生は十一月十日から十三日まで修学旅行を四国方面で実施した。あいにくの雨模様であったが最終日、広島市の平和公園での語り部の話は大変、有意義であり、生徒も言葉一つださず、聞きいつていた。

三年生は十月、十一月と最後の追込み、推薦入試の真最中である。4大、短大、専門学校とまだ十数名であるが合格者が始めている。

新年度の入試からいわゆる単独選抜に決まったので、どの都立校も必死である。本校の学校説明会にも例年の倍、二百名をこす生徒、保護者が集った。教務を中心に周辺の中学校へ向いてPRにこれ務めている。

校舎改築は設計図面のチェックもほぼ終了した。平成九年度には地上6階建てのインテリジェントスクールが本郷通り沿いに出現する予定である。

母校だより

(一) 職員の異動

平成5年3月末日をもって左記の先生方が異動されました。

① 転出

伊藤栄洪教諭(国語)↓退職
日野堅助教諭(化学)↓(足立高校)
山田久慈子教諭(保健体育)↓退職
初川宏子教諭(英語)↓白鷺高校
深尾陽子教諭(英語)↓墨田川高校
鳥居雄司教諭(物理)↓都研
矢作 洋教諭(保健体育)↓都研
松本 順恵託(数学)↓退職
浅野和子司書教諭(練馬高校)
関根 晃主査(事務)↓(工業高専)
駒宮晴美主事(事務)↓板橋養護学校
高橋真里子主事(事務)↓文京高校

② 転入

平松恵子教諭(国語)↑山崎高校
佐藤善之教諭(保健体育)↑清瀬東高校
橋本久美子教諭(保健体育)↑足立新田高校
新井研一教諭(英語)↑大山高校
棚橋昌代教諭(英語)↑紅葉川(中央)
佐藤雅子教諭(英語)↑農産高校
武田貞夫教諭(物理)↑(志村高校)
小町谷郁子(数学)↑(上野高校)
澤口正春係長(事務)↑北豊島工業
阪東柳子主任(事務)↑板橋、高島一中
大竹裕二主事(事務)↑白鷺高校
尾本四郎(事務)↑(武蔵丘高校)

(二) 進路状況 平成4年度

国立大学
公立短期大学
私立短期大学
専修各種学校

III 51 68 2 1

民間企業就職
公務員
進学 計233名、就職 計43名
23 20

(三) 学校行事

5月 遠足
6月 合唱祭(4学区で実施しているのは本校のみ)
9月 向陵祭・体育祭(今年も夢の島競技場で行なった)
11月 修学旅行(広島・岡山・神戸方面 11/10~11/13)
クロスカントリー(多摩湖畔にて)

計 報

本校前PTA平成三年度会長多田正門さんが、病氣のため平成五年九月三十日逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

氏 名 卒年 逝去年月日

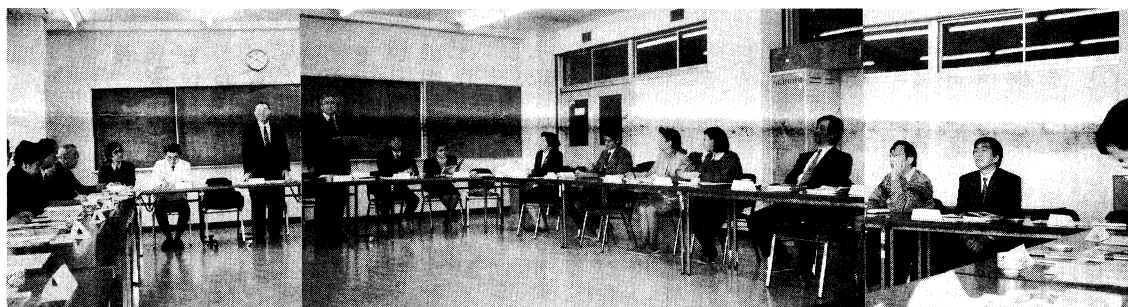
関口美代岡崎昭	24	平2・2・15
新井信之	29	5・2・21
高村節子	29	4・7・2
野村一雄	29	3・5・13
中川三鈴(徳山)	31	3・5・28
柴田 讓	33	4・12・30
友田政夫	40	4・8・19
武藤俊春	52	2・4・5
永島千景原田	58	2・6・22

以上ご連絡を頂いた方のみをお知らせ致すとともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

我が向丘に春爛漫

元校長 原 隆男

花咲き鳥歌う四月の好季節、恒例の同窓会総会に出席し、集まってきた多勢の諸先輩、並びに現校長の池永先生を始め、新旧の先生方にお逢いし、本年も楽しいひと時を持ちました。小川会長を先頭に、幹事の方々のご努力のお蔭か、この四月の会が年毎に盛んなものになっていくのは、如何にも慶びに堪えないものがあります。殊に本年は池永先生のお話で、いよいよ一号館、二号館の全面改築の計画が具体的な軌道に載るとのこと、これは実に素晴らしいと思います。それも高層建築で六階建ての予定とか。グラウンドの広さを確保しようとの配慮なのでしょう。その上、校地の問題も、永年の努力が遂に結実に近いきつつある由、誠に感慨の深いものがあります。思えば創立三十周年の頃、延び延びになって居た三号館の改築が実現し、校内が喜びに湧いたことを、懐かしく思い出します。かつての我が国青年教育のメッカ、旧制一高の流れを汲む本郷は向丘に、いよいよ単独選抜の好機を捉え、高層の新校舎と広きキャンパスに、「天下の向丘」として、爛漫の春を謳わんことを心から祈って止まないものです。



岡村 小川 橋本 西淵 鳥居 平塚 池永 篠田 木内 石井 佐藤 長谷川 真弓 岡野 宮久保 杉浦

平成5年2月20日ホームカミングご出席の先生方と同窓生 (於：母校4階会議室)



中川 五條 池田 高橋 岡村 小川 橋本 河合 寺村 石山 小野寺 山本 三田

心温まる集い

元校長 平塚寛次郎

毎年、四月二十九日は『やよい会』総会ときまっています。何よりも先約というわけです。ことは雨でしたが、多くの方々と楽しく語ることが出来ました。小川会長はじめ関係者各位のご努力の賜物であります。すでに卒業生合計一四、三一六名と力強い限りですが、千客万来とあつては会場がパンクしてしまいます。だが、よくしたもので誠に適切に賑々しく盛会となるからふしぎです。和氣堂に満ちてあつという間に三時間をすごしました。ビンゴによる景品贈呈には破顔歓声の連続でした。また、現役吹奏楽部員の高校生離れしたすばらしい演奏に心うたれるものがありました。こうして名残りを惜しみつつ再会を約しておひらきとなりましたが皆晴ればれとした表情でした。

閉会后、数人で根津神社参拝、ツツジを観賞し、コーヒーなどを楽しんだりして、帰宅しました。

この時のリーダー元校長の原隆男先生がこの秋、叙勲の栄に浴され、勲四等瑞宝章に輝やかれましたことは誠に慶賀に堪えません。総会の回想とともにこの慶事を記して心からお祝い申し上げます。

ホームカミング特集

母校発展を語る場

ホームカミングへ

S31年卒 山本(福永)越子
平成五年二月二十日、第三回ホームカミングが開催された。この催しは、小川会長が就任と同時にスタートした企画で、当初聞き慣れない横文字に戸惑った覚えがある。

すべての同窓生に母校を開放し、在校生、卒業生及び新旧先生方を交えて、共に向丘の昨日までと明日からを語っていただくことがこの会の主旨という。

回を重ねる度に参加者の顔ぶれもさまざま話の展開がどこへ行くのか毎回楽しみである。

卒業以来、長い歳月を経て、初めて母校を訪れたという参加者もいるのでまずは校舎の見学を、ということになった。

御存知の方も多いと思うが、向丘は都立高校の中でも特色ある学校づくりの主眼をコンピュータを利用したCAI(個別学習)に置いている。一五〇台のコンピュータが設置されている教室はぜひ見ていただきたい場所である。今年

度、学校の同窓会担当が物理の鳥居先生ということもあり、説明にもいちだんと力が入った。

会は定例どおり池永校長の挨拶から始まる。学校現場と縁遠い人々には、ショックを隠せない話が出てくる。高校生は現代社会をそっくりコピーした行動をとるという事実を示され、我々は今の世の中を憂う前におのが身を律しなければいけないと痛感する。

三十余名の参加者は卒年もさまざまで、母校の思い出にも世相がうかがわれる。学校郡以前、以後グループ選抜と都立高校の入試制度の変更に伴い、愛校心にも微妙なズレが生じている様だ。

そんな中でS29卒、小野寺栄光氏の参加はうれしかった。多くの卒業生がそうであるように私も巣立ってからは母校をふり返ったことがない。同窓会に携わるようになって、小野寺氏が途絶えることなく四十年余バレー部のコーチを続けていると知り、話をうかがいたかったから。聞けば、楽しい日々ばかりではなく、こちらの思いが生徒には伝わらず空しいことも多いとか御苦労の程が察せられた。一人ひとりの力は微々たるもの

だが、卒業生として母校に何如に係われればよいのか、それを探り出す場がホームカミングなのではないかという結論に至った。

談論風発

爽快！新鮮！

(S42年卒)石井(奥山)満喜子
母校だし、目の前だし、取り敢えず……が現実となり、向丘に通う娘。「大丈夫！イイ学校ヨ！」と送り出すものの、実は心中穏やかならず、昔とは違うって本当だろうか？あつ、以前、同窓会の広報誌が……ホームカミング……？

ちゃんと読むんだつた。
取っておけばよかった。
そして再び広報誌を手にした、にわか同窓生、早速ホームカミングへ参加したのであります。

校長先生の説明して下さる現状には、少々狼狽えも致しましたが、それはさておき……

貴重な「時」を経験致しました。
「今年、私たちが卒業生として最初に定年(六十五歳)となります」と自己紹介された方。卒業後四十年近くもバレー部で後輩指導を続けておられる方。教師として向丘に戻ってきたいと希望を語られた高校の先生。私を狼狽えさせた最近の高校生の現状を「そういうこ

とをしたい時期」と言って、それを脱した頼もしさを披露し安堵させてくれた後輩。様々な方にお会いできました。

同じような時期、同じ場所で過ごしたということが、こんな不思議な連体感を生むものなのか。見過ごして来たこと、気がつかなかったこと、知らなかったこと、人の意見がこんなにも素直にきこえてくるのが、最近あつただろう。実に、さわやかな気分です。帰途につくことが出来ました。

その後、同窓会のお手伝いのため何度か会合に参加させていただきました。そして、そこにも貴重なひとときが……。

何か懐かしい、穏やかな雰囲気があります。何故かホッとします。そして、それが妙に新鮮なのです。

毎年開かれるそうです。
一度参加され体験されると、きっと良いことがあると思います。

同窓会特集

同窓会で思うこと 人間形成は高校時代に！

(S31年卒) 佐藤(安藤) 令子
同窓会やクラス会には、少々無理をしてでも出席するよう心がけている。というのも同じ学舎から巣立った人々が、どんな生き方をしているか知りたいからである。

同窓会の場合は、世代の違う人に会える楽しみがある。後輩は見るからに我々と違う背丈、ひと首もふた首も高く、すらりとした長い足に圧倒される。またやることなすことスマートでもおじしない。

そしてマイクを前にしての酒脱な話しぶりは、昭和二桁の前半から上の者には真似できない。我々の世代は、経験豊かにして人前で話すことにも慣れているにもかかわらず、どこかどん臭い。というのも育った時代の背景を知らず知らずに背負ってしまったのである。

高校の同窓会では何十年ぶりに会う人でもすぐ相手が誰か分り、仕事や生きざまなどもその人らしいので、意外性がない。それというのも高校時代に、人相・人格・将来性などきまってしまうているように思える。いかに高校生活が大切であるかを考えさせられる。

思い出によせて

(S32年卒) 櫻井 弘清
同窓会(やよい会) 会員の皆様

には益々ご精祥のこととお慶び申し上げます。

本年も四月二十九日総会・懇親会に出席致しました。これも偏に小川会長以下スタッフの皆様の日頃の努力のたまものと感謝しております。

毎年ながら同期の方々に会えることを楽しみにしております。私の担任はゴジラこと田中修先生です。毎回出席くださるので楽しくお会い出来ますが、三十四年前の卒業ではあります。当時の青春時代のなつかしい時代の話を花をさかせることが出来ます。その中で初恋の人の話を先生も知っておられ、今日はMちゃんに来てないね、どうしているのかなあ、とかつてな思いをしながら語り会えること、毎回来しくてたまりません。クラス会では会えるでしょう。しかしいざ会えると自分の気持ちの十分の一も話せず、会は終わってしまうのです。その場に一緒に居るだけで良いのです。これが私の青春の「コマ」の様に思えます。又来年のやよい会を待ちどうしく思いながらペンを書くこととします。

二年後には同期会を！

(S41年卒) 尾道(大橋) 郁代
昨年にひきつづき同窓会に出席しました。同期の方が昨年の十一人から二十四名にふえての参加となり今年の同窓会が一番多い学年

となりました。主に三Gのクラスが多かったものでこれならクラス会が開けるのではと十月三十日土曜日に池袋サンシャイン五十八階のマテロー飯店で開きました。当日はあいにくの雨にもかかわらず十九名の方が集いました。なかには大阪からかけつけてくれた方もいました。学生時代のニッケンームで呼び合ったりして二十八年のタイムスリップ。気持ちはすつかり十八才に逆戻ります。就職希望のクラスで女子ばかり、在校当時からまとまりのあるクラスに記憶しています。担任の長田先生にお声をかけないで開いた為参加者の中には「先生どうしていらつしやるかしら」と問われて幹事といったしましては恐縮の次第です。



10月30日「3G会」於池袋 摩天楼飯店

あと二年すると卒業三十周年になるのでそれまでには同期会が開けるといいなあと他の幹事と話しています。居住地や近況などお知らせ下さい。連絡を待っています。

総会、懇親会に参加の方々 (ほぼ年代順・卓毎記念撮り) 4月29日 於：母校体育館



母校でテニスを楽しんで：

(S45年卒) 宮久保 渡

子供が向丘にお世話になっており、昨年に引き続き9月の向陵祭を見学に行った。

感じた事として今の子供たちは、全体的に見て元気がないと言った印象を持った。

たまたまテニスコートを見かけたときに、在校生・OBがテニスをしていた。私も在校時テニス部だったので、(尤も当時は軟式で卒業後今日まで硬式を楽しんでいる)ラケットを借りて後輩たちとテニスをした。

上級生は結構上手で、話を聞くと第4学区の都立では1番強いとか、都大会でも頑張っているという事らしい。

その話を聞いて、私も25年程前のテニス部の3年間のことを思いだし、大変懐かしく感じた。

この日以来、時間を調整し、土曜日何回か母校に行って、後輩たちとテニスを楽しんでいる。

今後時間も有る限り続けて行きたいと考えている。

.....

同窓会のことですが、その活動について小川会長さんを始め、役員の皆さんが大変努力されていることに、敬意と感謝を申し上げます。

在校生の為に、同窓会の一層の発展を願っています。

それには、同期卒の「横の糸」

とクラブ活動等の「縦の糸」をどのように「太く」そして「繋ぎ合わせる」事が出来るか、などの課題があると思います。

いづれにせよ、地道な努力が必要と考えています。

私も、微力ですが皆様と相談しながらお手伝いをさせて頂きたいと思ひます。

向丘で学んだ 性教育

(S59年卒)

千田(樋口)二仁江 現在、養護教諭の産休要員として働き続けている私は、母校の特色ある教育として、コンピュータと性教育が有名であったことを知りました。

特に性教育は、自身自身にとっても身近な内容であった為、印象に残っています。ともすれば「恥ずかしい」「いやらしい」と思ってしまうが

ちな内容を、正しい知識として学習させようと、保健体育の若い担任は一生懸命だったように思われます。いつの間にか、自分の健康



総会、懇親会に参加の方々 (ほぼ年代順・卓毎記念撮り)

の悩みを打ち明けられる頼り甲斐のある先生になっていました。

そして今、私は小学校で性教育を行っています。向丘で育てられた性教育への考え方は「正しい知識を知ること」「知識を得た上で、自身の生き方を考える心を育てる

こと」でした。この考えを指導の基本としていこうと、あらためて思うと同時に、性Ⅱ生を教える立場として自分を磨き続けていきたいと考えています。

仲間のひろば

生きざま

(S 30年卒) 渡辺(岩松) 洋子

生れる時は自分では選べない、でも死に至る迄は自分の考えでそれなりに生きる事が出来る筈だが他の人間の思いのままに引き連れられて気が付いた時はもう、遅かったりする、いろいろです。

三十年以上も経ってお会いして顔を見た一瞬変わってしまったかなと感じたが、お話している内に

に学生時代そのまま、とてもなつかしい。少しでも多く、何かを伝えたいと思うが、なかなかうまく言えない自分と言葉が早い人のおしゃべりを聞く時間が、多くなる。

無理をせず、がまんをしないで自分に素直に、素晴らしい自然と一緒に、愛と文化を大切に、生きて行きたい！

貴方様は何を感じてどう生きていらっしやるのでしょうか。

合唱へのお誘い

(S 55年卒) 小沢(小林) 玉枝
私は幼年より音楽を嗜み、現在も合唱団で活動しているが、想えば向丘での三年間だけ音楽から遠ざかっていた。理由の一つは、当時私は生意気に高校での音楽教育

を馬鹿にして美術を選択したこと、もう一つは合唱部がなかったことである。それは私にはとても残念でならない想い出である。

ある年令を越すと、芸術に触れたり、教養を身につけることは、そう容易なことではない。まして音楽というと、子供の頃からの訓練や才能などが必要と思え、敬遠してしまう。しかし合唱は誰にでも体ひとつで参加でき、歴史、文化、言語などの教養を得ることができる。―最も身近な芸術であると思う。

現代社会において、合唱はどのくらい認知されているだろうか。多種の有線放送のチャンネルに合唱曲というジャンルはない。テレビのCMで合唱を趣味に持つ新入社員を殴るものもある。それは、本当に合唱の素晴らしさを体験した人がまだ少ないからであろうと思う。



中段左端が小沢さん、中段右端が山本さん

体験してみてもほしい。一人でも多くの人に合唱の喜びを伝えたいと私は思っている。

前記

「合唱へのお誘い」の投稿者、小沢玉枝さんは現在コール・シャンティという混声合唱団で技術(歌)は勿論運営でも中枢で御活躍中です。

コールシャンティは今年創立三十周年を迎え、現在団員数は50余名です。

この団の足跡は結構輝かしいものがあります。毎年秋季に上野の東京文化会館で催される「東京都民合唱コンクール」では一位、招待演奏、というパターンをくり返すほどです。

文中にもあるとおり楽譜は読めない、英語不得意、ドイツ語、ラテン語などで今までの人生でお目にかかったことがなくても、歌いたい！みんなと楽しく一つのものを作りあげたい！という気持ちがあれば参加資格は充分です。

かく申す私も子育てが終り、ふと我に返ったときに目の前にコール・シャンティがありました。メンバーの中に同窓生がいたのも心強く思へ、すっかり楽譜も読めないのにもう六年も続いています。

(書記) 山本越子記

クラス会だより

青春時の面影しかと

(S 31年卒) 小柴(大塚) 芙美江

エルニーニョ現象とか百年に一度位の気候異変とか伝えられた夏も終り、北の方から紅葉の便りが届く早秋のたそがれどき、首都高速道路工事の飛鳥山公園を左に見ながら、久しぶりに友に逢える喜びを感じながら集いの場所へとゆっくり歩みを進めた。

定刻に始まった、高校一年のクラス会には予想を上廻る参加者があり、自己紹介エトセトラ、談笑と時の過ぎゆくまに盛り上り、気がついたら三時間余……

それぞれに歩んだ人生は違っても青春の時の面影をはつきりきざんでいた友だちが、〴〵またね〴〵と各方面に散っていった。

高校時代に通った懐かしい旧都電通りをタクシーを飛ばす。左手に二人の息子が生を受けた病院をやみの中に見極め、想い出を胸に一途、次の会場へと向った。

その日は、中秋の名月の夜であった。次の日、自宅近くの商店街の各店先に、一升ビンに入ったススキがゆれていた。

チェロサウンドの心洗われる、響を耳にしながらのつぶやきである。

ひとり言

(S31年卒) 古崎(白井) 英子
出席しようか迷ったの参加でした。身勝手ですが最初は場所も根津でしたので実家の墓参も出来てきつと父母が私を皆様に会わせてくれると思つたのです。実は現在主人の父97母96才との生活で人間人生をいかにすごすか私にもすぐの宿題と考えている日頃です。

ともあれ学び舎から四十年の年輪の木々がいろ／＼ですが入口での挨拶の声が心はずんだ声々で、旧姓で呼ばれるのが独身時代にかえれて又うれしく、自分という一人の人間になつてこう思うのは私だけかもしれませんね。それにつけても幹事さん王子の場所すてきでした写真も沢山に心より感謝申し上げます。又の機会まで御元気で

懐かしい友

(S31年卒) 飛矢崎(今村) 美智代
今から、四十年前の学友、一年



10月1日「1E会」於王子安寿加

E組の皆さん二十六名が集いました。多感な十代に出逢った仲間たち、瞬間に判る方。「誰方かしら」と思い記憶を辿るうちに、「あの方だ」と思い出す。曾ての少年達

は、立派な社会人となり、随分と社会に貢献した面持ちで風格もありました。曾ての少女達は、主婦となり、母となり、それぞれの人生経験を糧にして貫禄十分の風体でした。この長い歳月を、皆んな一生懸命に生きて来た同志という思いにある種の感動を覚えまして。老いのベールを時には感じるこの頃、またの機会に壮健で皆さんにお目にかゝれることを祈り、帰途につく秋の宵でした。

五十代半ばのひとりごと

老化防止に:

(S31年卒) 小林(小川) 啓子
今、世間では高齢化社会にそなえて、老化防止のための活動が活発に行われようとしております。

今回のクラス会に出席して感じたことですが、かつての級友が多く集い、すでに忘れてしまつていくる思いがけない事柄を語り合い、また一つのエピソードを思い出して共有していた事実を確かめ合つて、ほんのひとときですが、若がえった気分になりました。今でも、そのときの余韻が残つてお

ります。

これも老化防止のひとつになるのではないかと思うこの頃です。

そして三十二年

(S36年卒) 田中 正明
担任の降旗経雄先生をお迎えし、第13期C組のクラス会を、10月17日の午後、母校に程近い豆腐料理の店「五衛門」で行いました。10数年振り、それ以上の期間をおいた者も多く、五十路を越えた今、共有した若き日々を追憶すると共に、この間の健闘を讃え、現在の活躍の様子を語り合いました。いつの場合にも楽しい時間は瞬時に過ぎ行くもので、その後は大挙して二次会・三次会へと向かったことは、記すまでもありません。

私どものクラスでは、何回かの会合を重ねてきましたが、それも10数年前の会を最後にして、途絶えてしまつていたのです。しかしながら、数年前から、一部にクラ



10月17日「3C会」於白山上五衛門

ス会待望論が起こりはじめました。とはいえ、10数年間の空白は大きく、音信の通う者は僅かで、時間が無為に経過する許りでした。このようなわけで、改めて名簿づくりから着手することとしました。探り当てた先から更にその先へといった具合で、現在では54名のクラスメートのうち45名の消息が判明するに至りました。

この間、4月29日の同窓会の日、母校の前に集まろうという試みが持たれました。生憎の雨模様でしたが、女性を中心に14名もが集つたのです。この日は同窓会に参加し、半ばから母校の並びの割烹料理店で懇親会を行いました。瞬時にして、昔の仲間に戻った趣がありました。昔語りに談笑し、近況が語り合われ、最後は大学のサークルと見紛うほどに校歌を歌つて散会をしたのです。

卒業後32年目の此の度のクラス会は、このような経緯を経たものでした。23名もの参加を得て盛會裏に終始したことは、当初からの企画に携つた者の一人として一先ず安堵することができました。それと共に、2年後の秋に開催を約した次回のクラス会の日までに、不明者を更に探り当て、触り合った縁を大切に、共々歩みを進めて行きたいと考えています。

向丘高校同窓会 総会

◆総会

司会(杉浦重治幹事)

- 一、開会のことば (三田昌男副会長)
- 二、校歌斉唱
- 三、会長あいさつ 小川力洋会長
- 四、校長(名誉会長) あいさつ 池永武昭校長
- 五、議長選出 議長 小川会長
- 六、議事
- ①会務報告 平成3年度 書記(山本越子)
- ②決算報告 平成3年度 会計(荒川雅司)
- ③監査報告 平成3年度 監査(石山彼早子)
- ④事業計画(案) (石井満喜子幹事)
- ⑤予算(案) 会計(千田二仁江)
- ⑥規約改正の件
- ⑦役員改選について (寺村光司幹事)
- ⑧その他
- 七、役員等紹介 顧問、参与、幹事、役員(会長)
- 八、閉会のことば

◆懇親会

一、開会のことば (千田二仁江会計)

- 二、会長あいさつ (小川力洋会長)
- 三、来賓代表あいさつ (原隆男顧問)
- 四、乾盃 (平塚寛次郎顧問)
- 五、懇談(スピーチ等少々、顧問等)
- 六、アトラクション
- 日舞 第七期(S30) 渡辺(岩松)
- 洋子様、上尾市在住
- 吹奏楽部 出演、顧問橋本先生
- 約20名
- 七、ビンゴゲーム大会 カード1枚 ¥500にて会場内で配布し、援助資金とする。
- 八、閉会のことば

会務報告

◆役員会(含幹事会)(都合6回 会合開催)

H4、4、18日 総会次第、役割分担、懇親会の運営について
先生(千葉、鳥居、西洲、幹事(猪飼、松崎、成田、能川、栗田))
役員(小川、三田、山本、石山、千田)以上13名出席 於L&L教

H4、6、3(水) 総会の写真整理及
び送付、反省会、7名出席
先生(池永校長、鳥居)役員(小川、三田、山本、岩崎、石山)

H4、6、20(土) 総会会計報告と写真整理会、7名出席91通発送
先生(鳥居、西洲)役員(小川、三田、山本、岩崎、石山) 於校長室

H4、10、7(水) やよい第3号誌の企画会議と役員顔合せ会、7名出席
先生(池永、西洲)役員(小川、三田、山本、岩崎、石山) 於志

H4、11、21(土) 第二回企画会議8名出席
先生(鳥居)役員(小川、三田、山本、岩崎、石山、鶴田、浅利) 於校長室

H5、3、30(火) 総会に向けて新幹事、役員顔合せ会8名出席 於校長室
先生(池永)新幹事(笠原)役員等(小川、三田、荒川、石山、松浦、石井)

◆総会

H4、4、29(水) 客員12名 会員98名、合計110名が参加
特に第14期やよい会(S39年卒)メンバーが同期会を同日に合わせ、て下さり前段の会合として8名も活用を希望致しました。各期で、ご参加された方々からは、懐旧とともに青春が来た、とご満悦の様子です。校長先生はじめ、ご理解とご支援に感謝申し上げます。 於体育館

◆研究活動

29日発行されました。今回は有返信者のみ6613通を投函しました。それでも200通程が転居先不明となりました。住所変更がある方は必ず会長宛ご連絡下さい。友人でやよいが居ない人があり、また、10月7日企画会議から11/21、12/17、12/28、1/5、1/14、1/21、と数多く会議をもち、検

討並びに校正会を重ねた。(都合7回)
②第3回ホームカミングが、5年2月20日開催されました。第3号誌に広報し、又かつて参加して下さった方々等に改めてご案内をし、会員23名、旧現先生方(客員)7名、計30名の参加があり、かつてない活発な母校愛に燃えた意見交換ができました。今後更に広く、深く皆様のご参加を得て確かな意見交流の場として行きたいと願っております。

H4、4、9(木) 母校入学式に小川会長が参列した。

H4、8、10(月) 池永校長御母堂御逝去につき会長が通夜に参上した。

H4、9、26(土) 向陵祭に会長が訪問参観した。

H4、11、1(日) 前北園高校校長大田房太郎先生送る会に会長が出席した。於上野精養軒

H5、1、31(日) PTA研修会、新年会に招待を受け会長が出席した。小田原曾我梅林、二宮尊徳生誕地、小田原城跡見学後、だるまのまに新年会となった。総勢46名

H5、3、10(水) 卒業式に会長が招かれ、祝辞を述べた。350名卒業

H4、4、29(木) 第14期(S37卒)代表幹事河原正史氏が本郷弓町クラブにて同期会を開いた。会員100名程が参加した。お呼び掛け179名に対して助成した。

H4、10、17(土) 第38期(S61年卒)代表幹事鶴田進氏が銀座若松にて同期会を開いた。100名参加、160名お呼び掛けに対して助成した。

◆事業計画(案)

◆広報誌の発行と発送

5年1月末日をもって、やよい3号誌を発送することができました。校正ミスが何点かありましたが、お詫言致しました。多数の皆様のご寄稿にたよることが必致であります。ご協力を頂き更に充実した会報を目指して、

同時期6年1月末日までに発行致したいと考えております。
会員総数 5年卒業生(第45期生)までで14、136名となりました。

◆ホームカミング(第四回)開催

同窓生意識をより多くの方々に広め、母校愛の高揚に努めるべく、毎年2月第3土曜日午後三時から母校にて開催することを定着化して行きたい。6年2月19日が予定日です。

◆同期会、同級会への助成

会員各位と同窓会本部とのつながりを確かなものにするために、各会開催に先着順で通信費助成を行うものとする。担当幹事は、会の呼び掛け名簿と、当日出席者名、当日の報告文を400字程度にまとめ、様子の解る写真を一葉添えて会長、又は学校気付事務局までお届け下さい。

◆名簿確立への努力

創立50周年にはより充実した記念名簿が発行できる様、毎年の卒業生名の新規入力と、日常送られて来る移動整理を続ける。不明者名の判明に努力する。これらも、各位のご返信等によるご協力を願うものです。

◆審議事項

◆規約改訂の件

現第6条 本会に顧問、参与若干名を設け、役員会の諮問に應ずる。顧問、参与は現旧教職員の中から、役員会の推薦により委嘱する。

新第6条 本会に顧問、参与、相談役を設け、必要に応じて役員会の諮問に應ずる。顧問、参与、相談役は現旧教職員、役員の中から、役員会で推薦し総会で承認を得るものとする。

◆役員改選の件

任期満了につき新役員(案)を提出。別表役員表に決定した。

平成 4 年度会計報告及び平成 5 年度予算案

都立向丘高等学校同窓会
平成 5 年 3 月 31 日現在

区 分	4 年度決算	5 年度予算
収 入 の 部		
入 会 金 (350 名)	1,750,000	1,650,000
総 費 (当日会費)	213,000	250,000
雑 入 (利息他)	65,332	5,000
簿 売 上 金	20,800	
繰 越 金	1,849,338	1,767,291
収 入 合 計	3,898,470	3,672,291
支 出 の 部		
交 通 費	21,500	30,000
通 信 費	66,314	100,000
議 事 費	97,240	100,000
総 務 費	555,521	600,000
給 食 費	42,060	50,000
研 究 費	12,090	30,000
活 動 費	78,220	100,000
報 告 費	38,000	100,000
報 謝 費	875,314	1,000,000
雑 費	134,516	100,000
周 年 事 業 費	1,804	
予 備 費	200,000	200,000
繰 越 金	...	50,000
支 出 合 計	2,122,579	2,410,000
次 年 度 繰 越 金	1,775,891	1,212,291
積 立 金 (周年事業)	400,000	600,000

上記のとおり収支ご報告申し上げます。

平成 5 年 4 月 29 日

会長 小川 力洋

会計 荒川 雅司

里見見千子

千田仁江

監査の結果誤りの無いことを認めます。

平成 5 年 4 月 10 日

会計監査 石山彼早子

足立 朋彦

以上。

出未大名願のあし
下着新一いごり
さの聞の回ます激多
い方社みは励と用
がへを住。う中、
即おの対所、各
送りま載に協各位
いたし載に認の
ましたも送ま
たら、頼致され
す。会長た。育後
広報宛。友又、お
委員お人、千便
会申しで四変

第 3 号誌 8 頁中、左記の誤りを訂正いた
し、菊池 (落合) 孝子、菊池 (落合) 孝子
あとがき

顧問

石 章二郎
佐々木益男
藤黒 正明
金井 量二
原 隆男
平塚寛次郎
新城 昇

歴代校長

〃
〃
〃
〃
〃
〃

名誉会長

池永 武昭

校 長

参 与

湯浅 征司
篠田 信雄
小野 正喜
春山 隆男
水山 清
渡辺 節子
川口 政利
太田垣光宏
松並 滋
千葉 豊
古田 真
鳥居 雄司
西淵 知
岡田 恵吾
柿倉 昌信
田嶋 昌治

事 務 長
教 頭

事務局担当教諭

会 長

小川 力洋

(31 年卒)

副 会 長

三田 昌男

(31 年卒)

杉浦 重治

(40 年卒)

会 計

荒川 雅司

(30 年卒)

岩崎 京子

(34 年卒)

(旧姓 吉田)

千田仁江

(59 年卒)

(旧姓 樋口)

書 記

山本 越子

(31 年卒)

(旧姓 福永)

石井満喜子

(42 年卒)

(旧姓 奥山)

会計監査

石山彼早子

(34 年卒)

(旧姓 佐伯)

寺村 光司

(37 年卒)

相談役

清水克多郎

S 48

同 窓 会 役 員 名 簿

緊急報

第四回ホームカミング
(学校訪問) のお誘い

日時：平成 6 年 2 月 19 日(土)午後 3：00～6：00
(受付 2：30)

場合：母校会議室 (4 階)

会費：無料 (軽食を用意致します。)

目的：すべての同窓生に学校を開放し、現役、OB、
諸先生と今昔、明日を語り合い、相互発展に
役立てようとするものです。

申込：同封のハガキで 2 月 10 日必着でご返事下さい。

定期同窓会総会・懇親会のご案内

(祝日、みどりの日)

日時：平成 6 年 4 月 29 日(金)午後 1：00～4：00

場所：母校体育館 (受付 12：00～)

会費：3,000 円 (当日受付)

(但し、5 年 3 月、6 年 3 月卒業生は ¥1,500 円)

お料理、飲物、ゲーム大会、大抽選会等

申込：同封のハガキ又は官製ハガキで

お名前 (旧姓)、卒年、住所、電話、勤務先名
等明記のこと。

4 月 22 日必着で申し込み下さい。

〈問い合わせ、連絡先〉

事務局 (学内)

岡田・柿倉・田嶋教諭

TEL. 3811-2022、FAX. 3812-4055

小川会長宅 TEL. & FAX. 3893-9793